

3 環境に関するアンケート結果

(1) 実施概要

本アンケートは、市民や事業者、団体における「環境への取組」や「今後の市の環境施策に期待すること」などを把握し、平塚市環境基本計画の改定に反映していくための基礎資料を得ることを目的に実施しました。

● 環境に関するアンケートの実施概要

	市民	事業者	団体
調査対象	18歳以上の市内居住者	市内事業所	環境ファンクラブ登録団体及び市民活動センター掲載団体
抽出法	住民基本台帳による層化無作為抽出法	市民法人税関連データを基に業種の分布を考慮し抽出	環境ファンクラブ登録団体及び市民活動センター掲載団体から抽出
調査方法	郵送配付・郵送回収		
調査期間	平成27年12月25日～平成28年1月20日		
配布数	2,500件	200件	30件
回収数	899件	92件	19件
回収率	36.0%	46.0%	63.3%

(2) アンケート結果

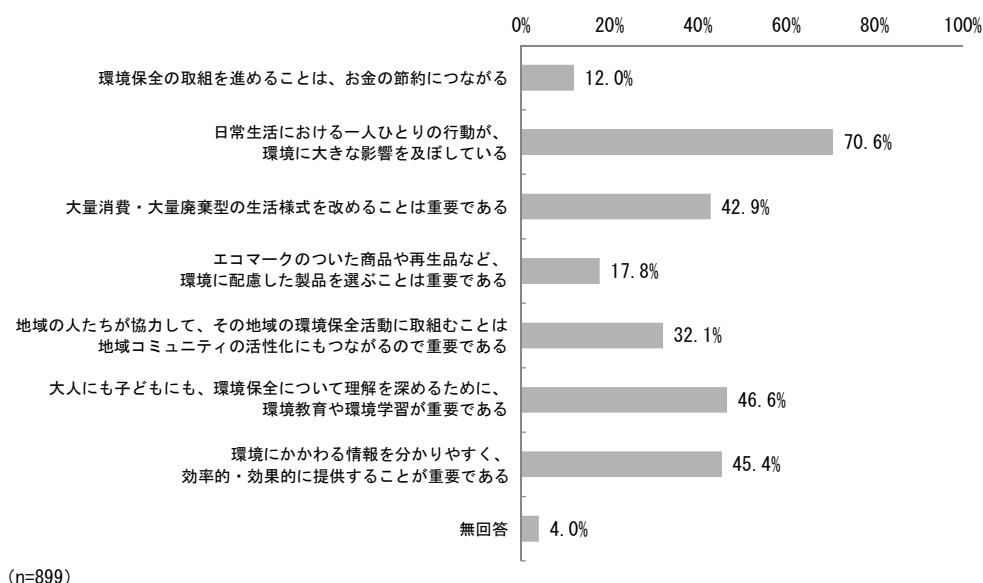
① 環境に対する考え

市民の7割が、「日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼしている」と認識し、環境教育・環境学習や情報提供の重要性を感じています。

環境保全の取組を自分の事としてとらえ、行動変革に向けてそれぞれが主体的に取り組むことが必要と考えている人・事業者が多いことがうかがわれます。

- ・ 「日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼしている」が市民70.6%と最も回答率が高かった。
- ・ 市民は、「大人にも子どもにも、環境保全について理解を深めるために、環境教育や環境学習が重要である」(46.6%)、「環境にかかわる情報を分かりやすく、効率的・効果的に提供することが重要である」(45.4%)といった環境教育・環境学習や情報提供についての回答率が比較的高かった。
- ・ 環境保全活動を進めていくうえで重要となる環境教育・環境学習について聞いたところ、学校での環境教育・環境学習をはじめ、暮らしに役立つ講座・イベント、自然・農業体験や自然の中での遊びなどの回答が多かった。

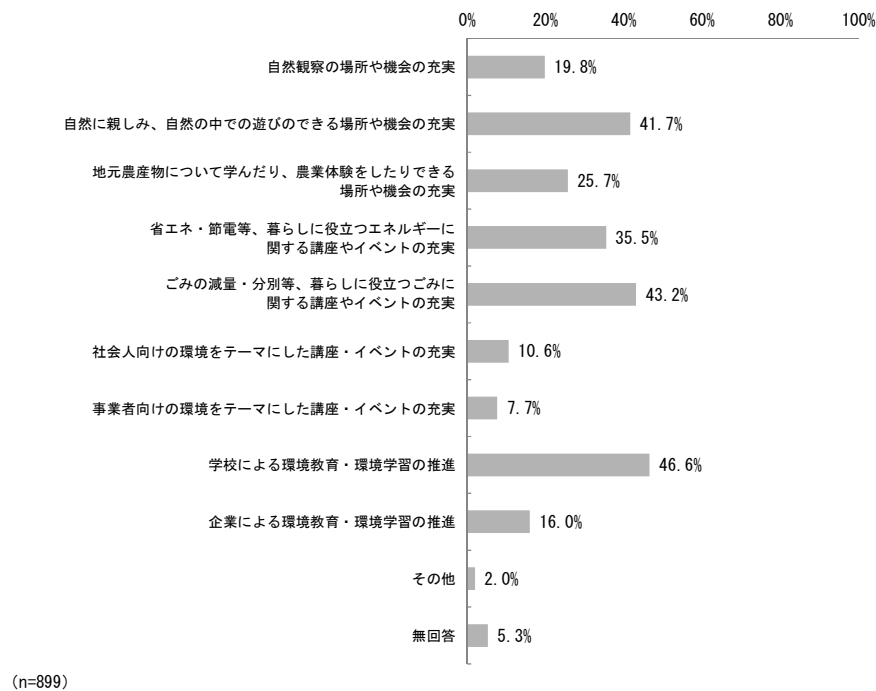
●環境に対する考え（3つまで選択）【市民アンケート】



また、環境教育・環境学習としては、学校での環境教育をはじめ、暮らしに役立つ講座・イベント、自然・農業体験や自然の中での遊びを重視しています。

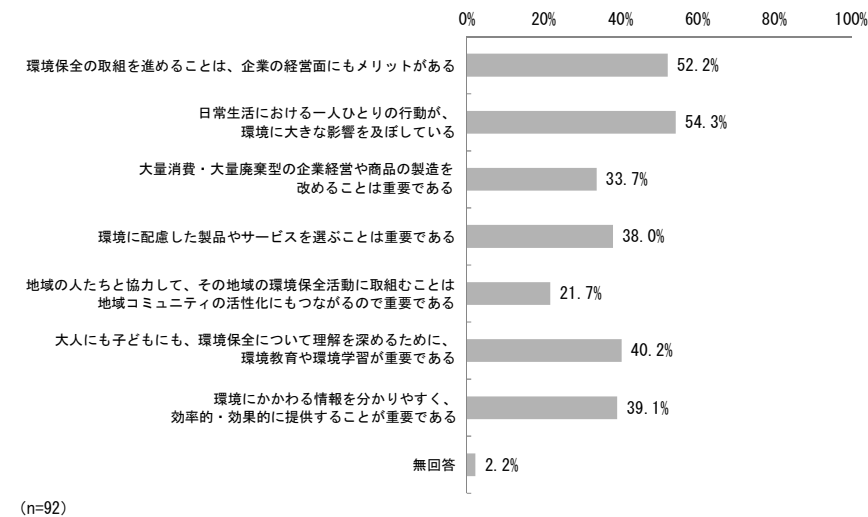
- 環境保全活動を進めていくうえで重要となる環境教育・環境学習について聞いたところ、学校での環境教育・環境学習をはじめ、暮らしに役立つ講座・イベント、自然・農業体験や自然の中での遊びなどの回答が多かった。

●環境保全活動を進めていくうえで重要となる環境教育・環境学習（3つまで選択）【市民アンケート】



- 事業者は、「環境保全の取組を進めることは、企業の経営面にもメリットがある」(52.2%)についての回答率が5割を超えた。

●環境に対する考え（3つまで選択）【事業所アンケート】



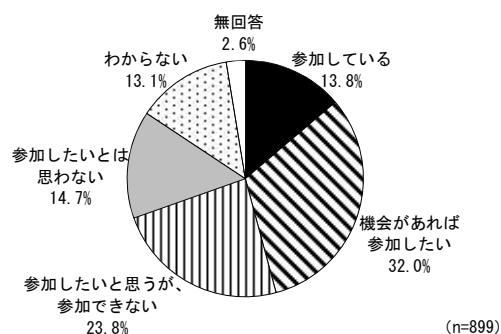
② 地域での環境保全活動への参加

市民の14%は、地域での環境保全活動に参加しており、参加したいという人を合わせると、全体の7割に上ります。清掃・美化活動や河川・海岸の保全活動、自然保護活動、緑化活動など、さまざまな活動に対し、参加の意向があります。

環境保全活動を行っている団体は、他の団体や個人と連携している団体が8割を超え、今後も連携の相手を広げながら、活動を拡大していきたいと考えています。

- ・ 「参加している」と回答した市民は13.8%であった。これに、「機会があれば参加したい」(32.0%)と「参加したいと思うが、参加できない」(23.8%)を含めると、全体の7割の人が地域での環境保全活動への参加意向がある。
- ・ また、「参加している」と回答した人のうち、84.7%の人が「地域や自宅周辺の清掃・美化活動」に参加したと回答している。
- ・ 一方、「機会があれば参加したい」「参加したいと思うが、参加できない」と回答した人については、「地域や自宅周辺の清掃・美化活動」(49.0%)をはじめ、「河川や海岸の保全活動」(37.8%)や「自然や生物の保護活動」(29.9%)、「地域の緑化活動」(28.7%)など、各分野の活動に参加したいと回答があった。

● 地域での環境保全活動への参加意向【市民アンケート】



- ・ 環境保全活動を行っている団体に、他の団体や個人と連携して環境保全活動を行っているか聞いたところ、「行っている」と回答した団体は82.4%であった。
- ・ 「行っている」と回答した団体に連携先を聞いたところ、「市」(78.6%)や「NPO*・任意団体」(57.1%)、「学校」(50.0%)の回答率が比較的高かった。
- ・ また、現在連携して行っている環境保全活動を、「今後も実施したい」又は「拡充したい」と考えているか聞いたところ、「今後、実施や拡充を行いたい」と回答した団体は100%であった。
- ・ すべての団体に、今後、新たに他の団体・個人と連携して環境保全活動を行ったり、環境保全に関する情報を得たいと考えているか(既に他の団体・個人と連携して実施して環境保全活動を行っている団体には、新たに別の団体や個人と連携をしていきたいと考えているか)聞いたところ、「行いたい」と回答した団体は78.9%であった。
- ・ 「行いたい」と回答した団体に連携先を聞いたところ、「市」(66.7%)や「町内会などの地縁組織」(60.0%)、「学校」(46.7%)、「有識者・専門家」(46.7%)が挙げられた。

③ 家庭・事業所での環境配慮行動

家庭では、日常生活の中でのマナー・社会ルールのような行動が定着していますが、もう一歩取り組むことのできる行動や、地域の環境保全活動に自らが参加したり、応援したりする行動への実施の意向がうかがわれました。

事業所では、事業所内で常日頃から取り組むことのできる行動が定着しています。再生可能エネルギー利用やクリーンエネルギー自動車といった設備・機器の導入や、地域の環境保全活動への参加に対する実施意向がうかがわれました。

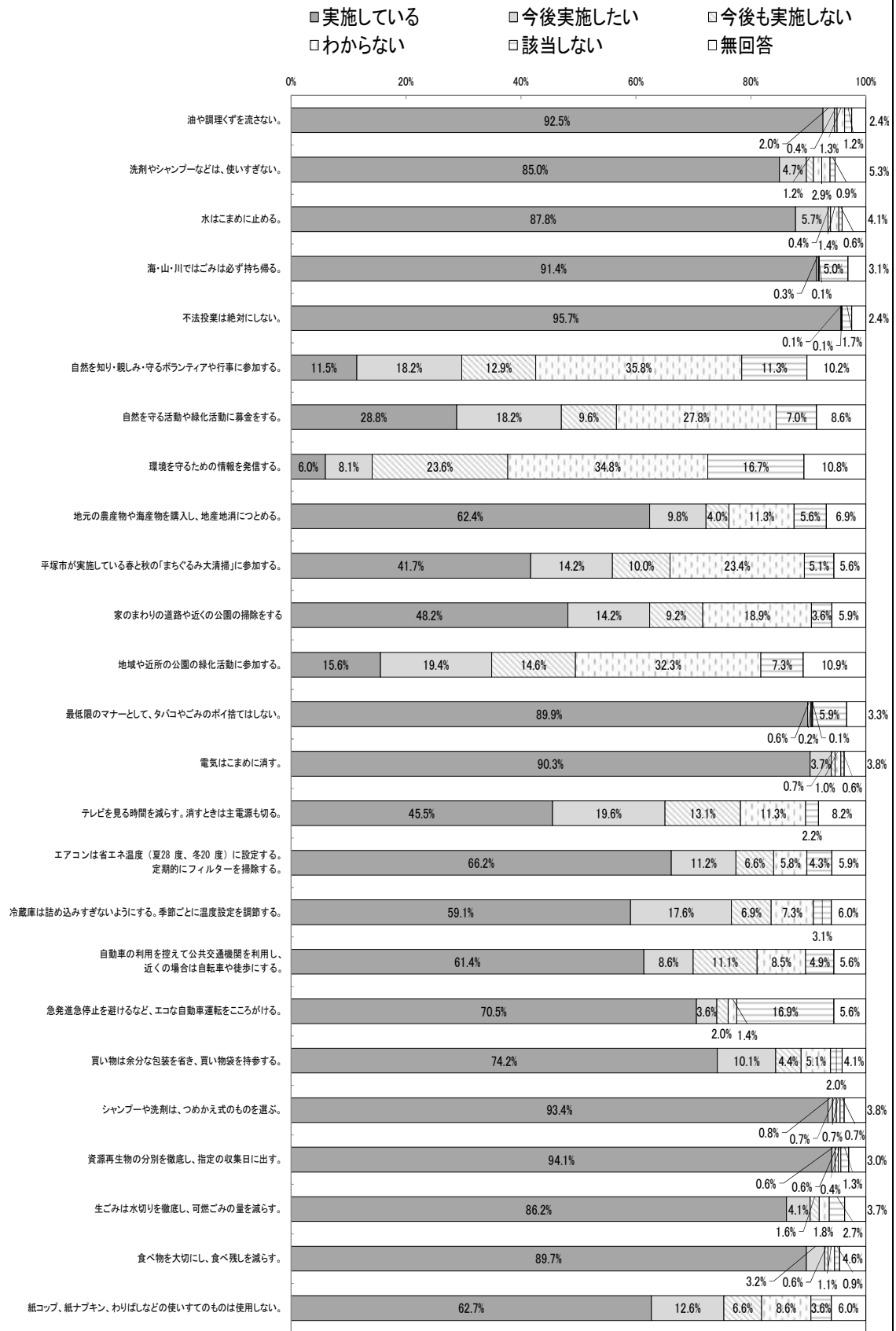
<実施している行動>

- ・ 家庭では、「不法投棄は絶対にしない」「資源再生物の分別を徹底し、指定の収集日に出す」「シャンプーや洗剤は、つめかえ式のものを選ぶ」「油や調理くずを流さない」「海・山・川ではごみは必ず持ち帰る」など、日常生活でのマナーのような行動については、回答率が9割を超えた。
- ・ 事業所では、「紙の両面使用や再生紙の利用に努める」「分別回収ボックスの設置などにより、ごみの分別を徹底する」など、いずれも事業所内で常日頃から取り組むことのできる行動の回答率が9割を超えた。

<今後の実施意向>

- ・ 家庭では、「テレビを見る時間を減らす。消すときは主電源も切る」(19.6%)といった日常生活の中でもう一歩取り組むことのできる行動のほか、「地域や近所の公園の緑化活動に参加する」(19.4%)や「自然を知り・親しみ・守るボランティアや行事に参加する」(18.2%)、「自然を守る活動や緑化活動に募金をする」(18.2%)といった地域の環境保全活動に自らが参加したり、応援したりする行動であった。
- ・ 事業所では、「太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を進める」(19.6%)「クリーンエネルギー自動車の導入や利用を積極的に進める」(16.3%)といった設備・機器の導入のほか、「地域で実施している美化活動に積極的に参加する」(15.2%)といった地域の環境保全活動への参加が挙げられた。

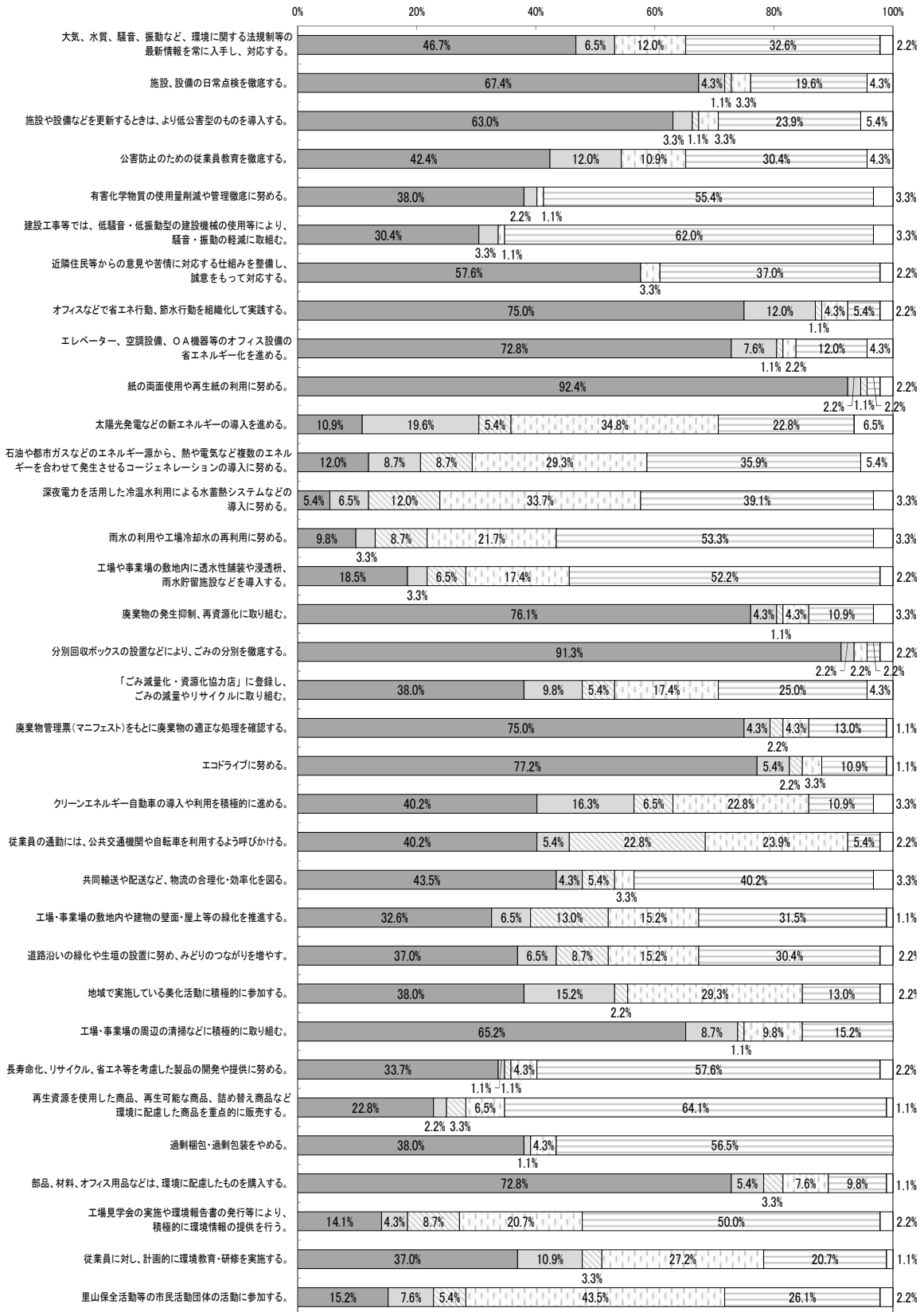
● 家庭での環境配慮行動の実施状況・実施意向【市民アンケート】



(n=899)

● 事業所での環境配慮行動の実施状況・実施意向【事業所アンケート】

■実施している □今後実施したい □今後も実施しない
 □わからない □該当しない □無回答



(n=92)

④ 再生可能エネルギー・省エネルギー設備・機器の導入

半数以上の家庭で照明やエアコン、冷蔵・冷凍庫など省エネ型の家電製品の導入が進んでいます。事業所では、高効率照明や省エネ型冷蔵・冷凍機、高効率空調機の導入が進んでいます。今後は、家電製品やクリーンエネルギー自動車、LED照明の導入普及が見込まれます。

<導入している設備・機器>

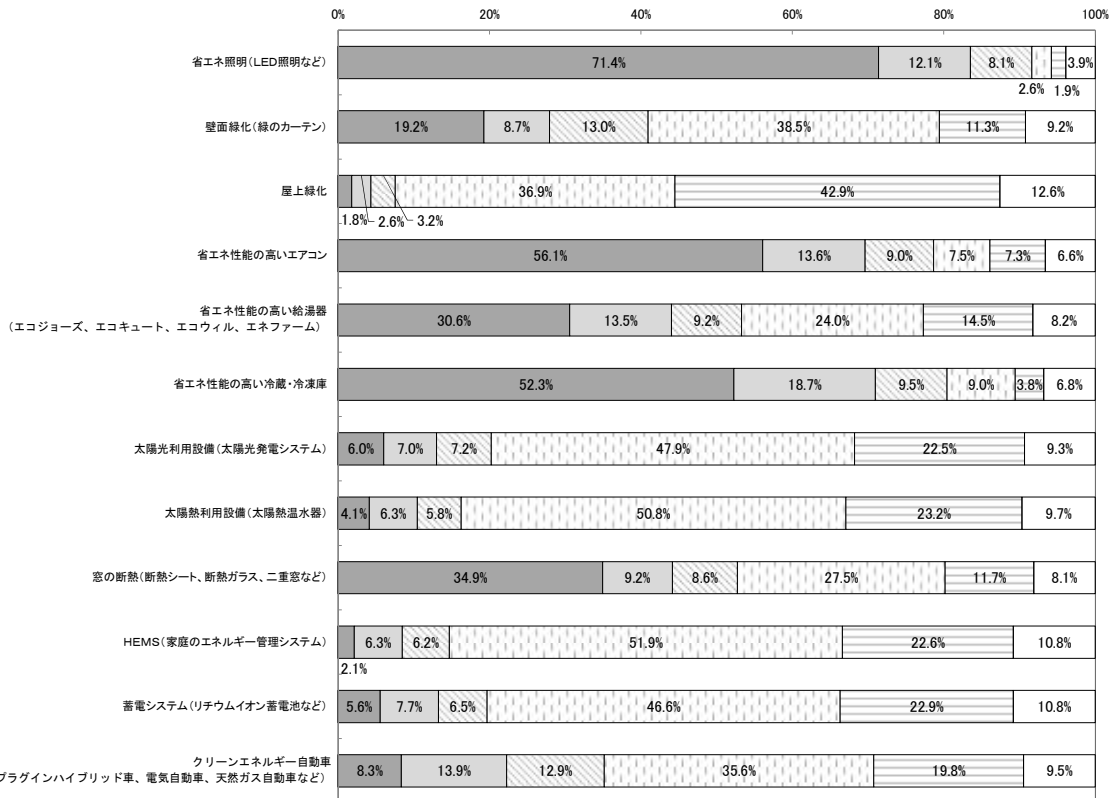
- ・ 市民では、「省エネ照明（LED照明など）」（71.4%）や「省エネ性能の高いエアコン」（56.1%）、「省エネ性能の高い冷蔵・冷凍庫」（52.3%）などが挙げられた。買い替えに合わせて省エネ型のものを選ぶ機会が多いことがうかがわれる。
- ・ 事業者では、「高効率照明（LED照明）」（52.2%）や「省エネ型冷蔵・冷凍機」（33.7%）、「高効率空調機」（33.7%）が挙げられた。

<今後の導入意向の高い設備・機器>

- ・ 市民では、「省エネ性能の高い冷蔵・冷凍庫」（18.7%）や「クリーンエネルギー自動車」（13.9%）、「省エネ性能の高いエアコン」（13.6%）が挙げられた。
- ・ 事業者では、「高効率照明（LED照明）」（19.6%）や「ノンフロン空調、冷蔵・冷凍庫」（18.5%）、「ハイブリッド自動車、クリーンエネルギー自動車、電気自動車等」（14.1%）が挙げられた。

●家庭での省エネ・CO₂削減に役立つ機器・設備の導入状況・導入意向【市民アンケート】

- 導入している 今後導入したい 検討中
 今後も導入予定はない 該当しない 無回答



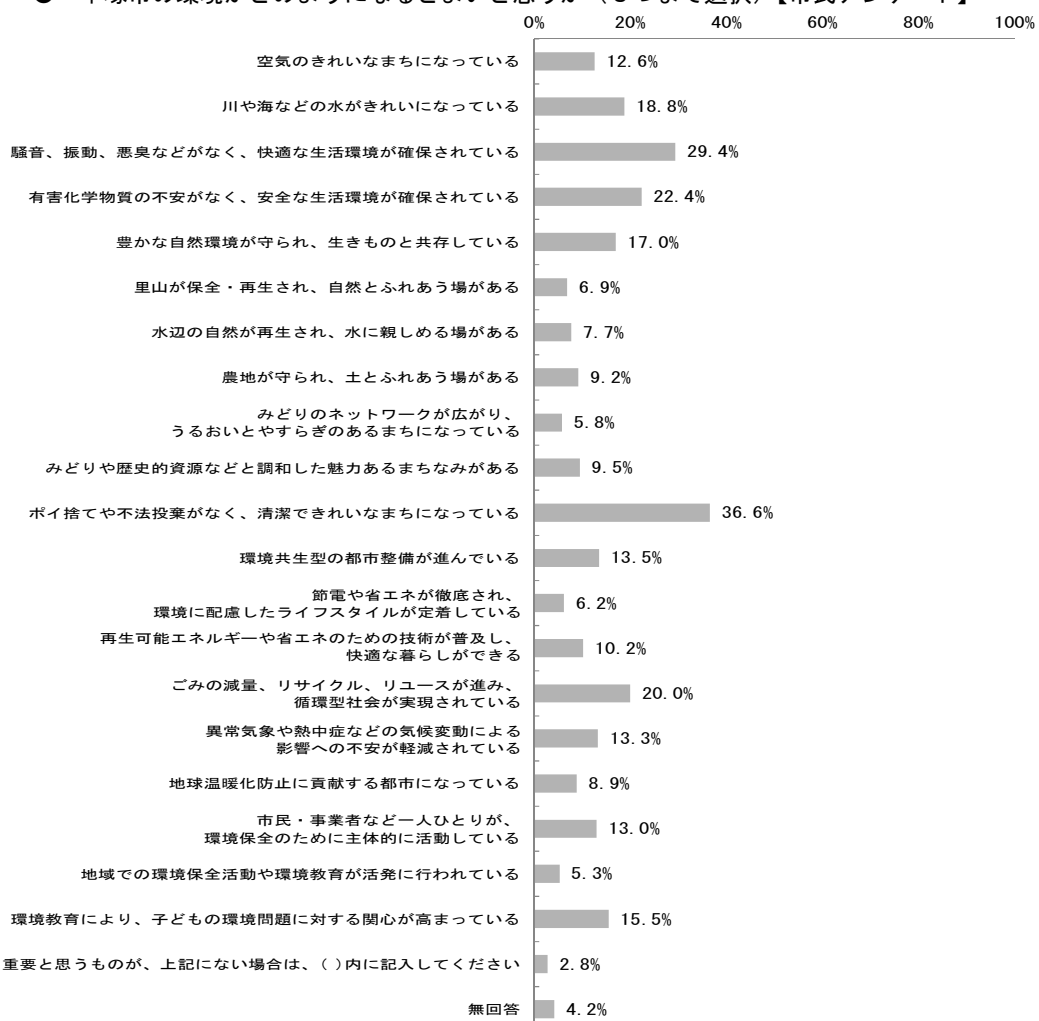
(n=899)

⑤ 平塚市の望ましい環境

望ましい環境に対する意向を聞いたところ、「清潔できれいなまち」のほか、「騒音、振動、悪臭などがなく快適な生活環境が確保されている」や「有害化学物質の不安がなく、安全な生活環境が確保されている」などが重視されています。また、その他の各環境の各分野に対する回答も多く、多様な意向があることがうかがわれます。

- 市民に望ましい環境について聞いたところ、「ポイ捨てや不法投棄がなく、清潔できれいなまちになっている」(36.6%)や「騒音、振動、悪臭などがなく、快適な生活環境が確保されている」(29.4%)、「有害化学物質の不安がなく、安全な生活環境が確保されている」(22.4%)などが多く、身近な生活環境の確保に関わる項目が重視されていることがうかがわれた。
- 続いて、比較的回答率が高かった項目は、「ごみの減量、リサイクル、リユースが進み、循環型社会が実現されている」(20.0%)や「川や海などの水がきれいになっている」(18.8%)、「豊かな自然環境が守られ、生きものと共存している」(17.0%)、「環境教育により、子どもの環境問題に対する関心が高まっている」(15.5%)であり、環境の各分野にわたっている。

● 平塚市の環境がどのようになるとよいと思うか（3つまで選択）【市民アンケート】



(n=899)

⑥ 身近な環境に対する満足度

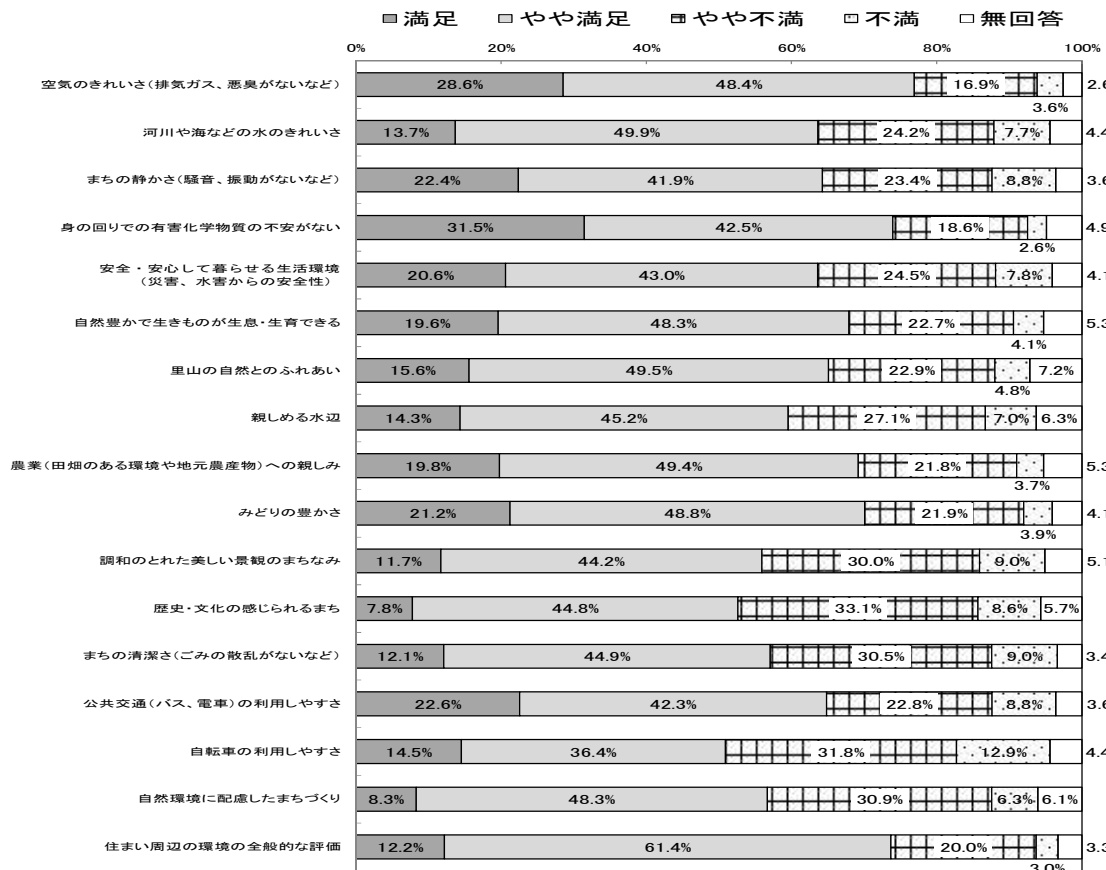
身近な環境に対する評価としては、「空気のきれいさ」「有害化学物質の不安がない」「みどりの豊かさ」に対する満足度が高いです。また、「河川や海などの水のきれいさ」「公共交通の利用しやすさ」「まちの清潔さ」については、満足度が上昇しています。

一方、「自転車の利用しやすさ」「歴史・文化の感じられるまち」「まちの清潔さ」は不満と回答する人が比較的多いです。10年程前からの変化を聞いたところ、「まちの清潔さ」は良くなったと感じる人が多く、「自転車の利用しやすさ」は悪くなったと感じる人が多いです。

<現在の環境に対する満足度（市民）>

- ・ 満足の回答（「満足」「やや満足」の合計）が多かった項目は、「空気のきれいさ」（77.0%）や「身の回りでの有害化学物質の不安がない」（74.0%）、「みどりの豊かさ」（70.0%）であった。
- ・ 不満の回答（「不満」「やや不満」の合計）が多かった項目は、「自転車の利用しやすさ」（44.7%）や「歴史・文化の感じられるまち」（41.7%）、「まちの清潔さ」（39.5%）であった。

● 住まいになっている周辺の環境に対する満足度【市民アンケート】



(n=899)

<10年程前との比較（市民）>

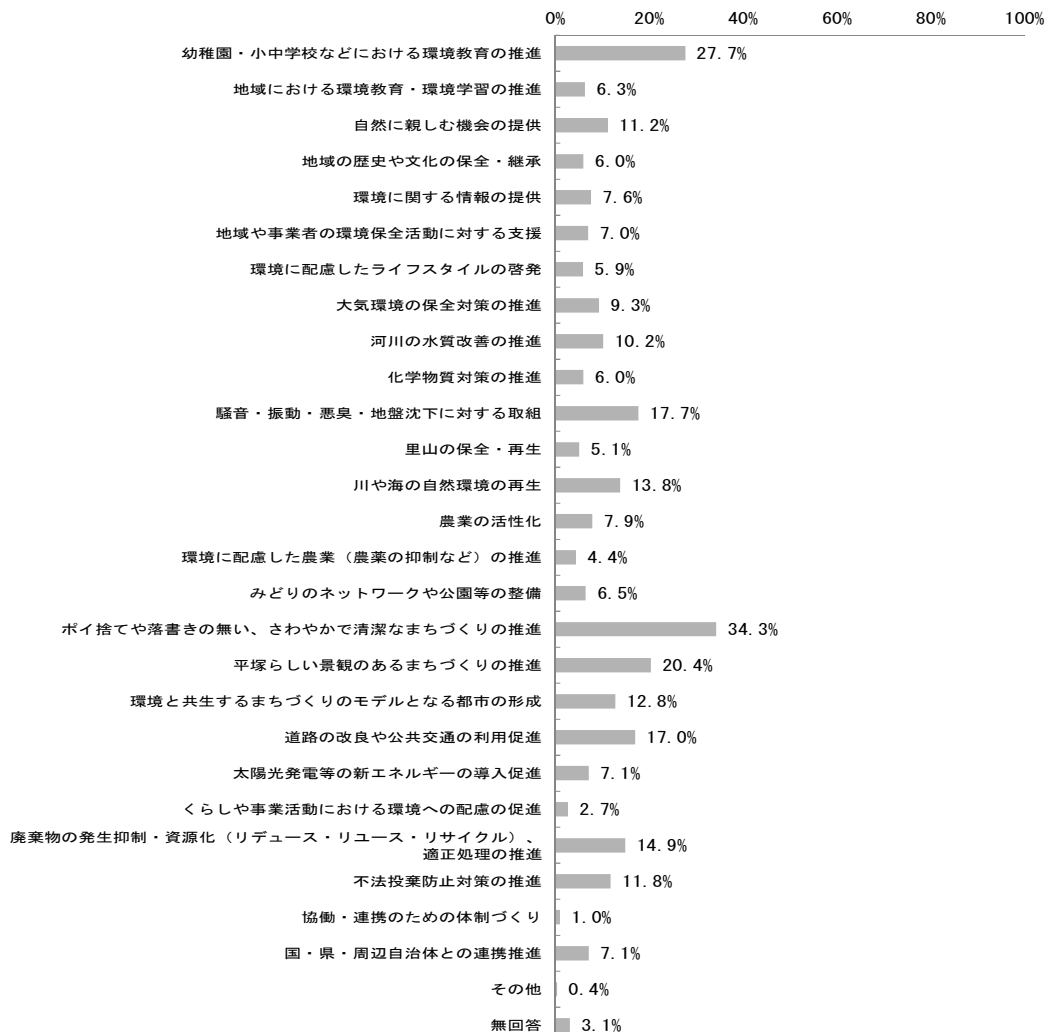
- ・ 良くなったと回答した人が多かった項目は、「河川や海などの水のきれいさ」（25.0%）や「公共交通の利用しやすさ」（17.3%）、「まちの清潔さ」（16.3%）であった。
- ・ 一方、悪くなったと回答した人が多かった項目は、「自転車の利用しやすさ」（25.7%）や「みどりの豊かさ」（20.8%）、「まちの静かさ」（19.0%）であった。

⑧ 市の環境施策について

市民、事業者及び団体の環境施策に対する期待を把握しました。

- 市民では、「ポイ捨てや落書きの無い、さわやかで清潔なまちづくりの推進」(34.3%)や「幼稚園・小中学校などにおける環境教育の推進」(27.7%)、「平塚らしい景観のあるまちづくりの推進」(20.4%)の回答率が比較的高かった。
- 事業者では、「低燃費自動車や電気自動車などのクリーンエネルギー自動車導入のための助成」(55.4%)「環境に配慮した設備改善や再生可能エネルギー導入のための助成」(52.2%)といった設備・機器の導入のための助成のほか、「環境配慮行動に関するノウハウや情報の提供」(37.0%)の回答率が比較的高かった。
- 団体では、「幼稚園・小中学校などにおける環境教育の推進」(47.4%)や「自然に親しむ機会の提供」(21.1%)、「川や海の自然環境の再生」(21.1%)、「みどりのネットワークや公園等の整備」(21.1%)、「平塚らしい景観のあるまちづくりの推進」(21.1%)の回答率が比較的高かった。また、活動を行っていく上で行政に求めることとして、「活動費などの支援」(61.1%)や「他団体や企業等との連携支援」(44.4%)の回答率が比較的高かった。

●環境への取組を進めていくために平塚市に期待する施策（3つまで選択）【市民アンケート】



(n=899)